

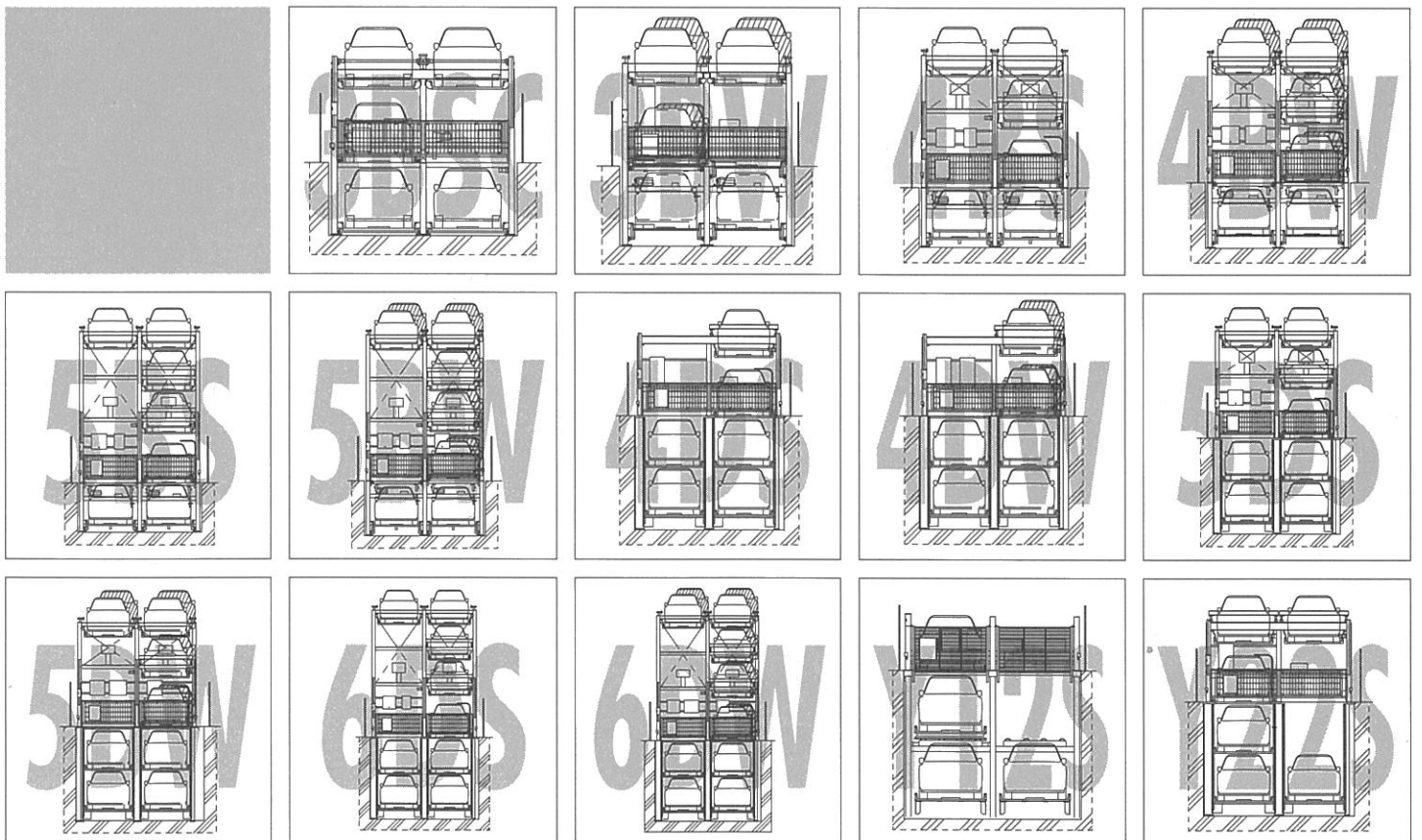
# ニッパツSDパークシリーズ

## 取扱説明書

**NHK P.S**

株式会社 ニッパツ パーキングシステムズ

(第3版)



## はじめに

このたびは、ニッパツSDパークシリーズをご利用いただきまして、誠にありがとうございます。

本取扱説明書は、ニッパツSDパークシリーズを皆様方に十分ご満足してご使用いただき、装置の寿命をより長持ちさせ故障や事故もなく、安全かつ円滑にご使用いただくため、本装置の基本的な操作、取り扱いおよび注意事項などを記述したものです。

ご使用に先立ち、十分にご熟読・ご理解をいただいた上、いつまでもご愛用いただけますようお願いいたします。

なお、この取扱説明書は、改善・改良のため変更になることもございますので、ご採用の装置と若干の違いが生じる場合があります。あらかじめご了承のほどお願い申し上げます。

また、本装置を安全にご使用いただけるよう分かり易く説明してありますが、ご使用になった上でご不明な点や異常がありましたら装置に表示してあります“緊急連絡先”または、この巻末に掲げてあります『お問い合わせ先』に早めにご相談・ご連絡くださいますようお願い申し上げます。

この取扱説明書は、本装置を安全かつ円滑にご使用していただくために大事なものです。  
本書をお読みになった後も、大切に保管してください。

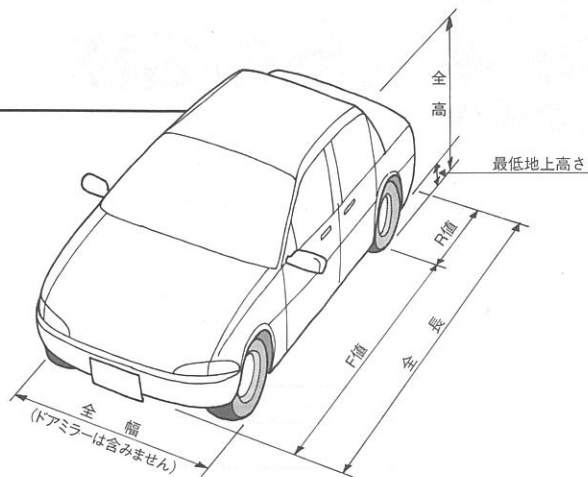
## 目 次

<b>1</b> ご使用の前に .....	1
<b>2</b> 各部の名称 .....	2
<b>3</b> ご使用上の注意 .....	3
<b>4</b> 天災時の取り扱い .....	13
<b>5</b> 操作方法 .....	16
<b>6</b> トラブル時の対応 .....	18
<b>7</b> ターンテーブル操作方法 .....	20
<b>8</b> 保証と保守点検 .....	21

# 1

## ご使用の前に

装置には、駐車できる車のサイズと重量に制限があります。装置に表示されている収容車諸元銘板で入庫可能車寸法をご確認の上、ご使用ください。



ご使用の前に

## 必ず知っておきたい自分の車のサイズと重量

機械式駐車装置では、収容可能条件を満たす車以外は駐車できません。装置に表示されている収容可能車寸法を外れた車を駐車させると装置や車が破損します。あらかじめ自分の車のサイズを確認しておきましょう。

<p><b>車両重量</b></p>	<p><b>全長</b></p>	<p><b>F値/R値</b></p>	
kg	mm	F値 mm	R値 mm
<p><b>全幅</b></p> <p>タイヤ外面とドアミラーをたたんだ寸法</p>	<p><b>全高</b></p>	<p><b>最低地上高さ</b></p>	
全幅 mm	ドアミラー寸法 50mm以下	mm	
<p><b>フロントバンパー高さ</b></p> <p>出っぱり中心</p>	<p><b>リヤバンパー高さ</b></p> <p>RV車等の搭載タイヤに注意</p> <p>出っぱり中心</p>		
mm (基準は450±50mm以下)	mm (基準は510±50mm以下)		

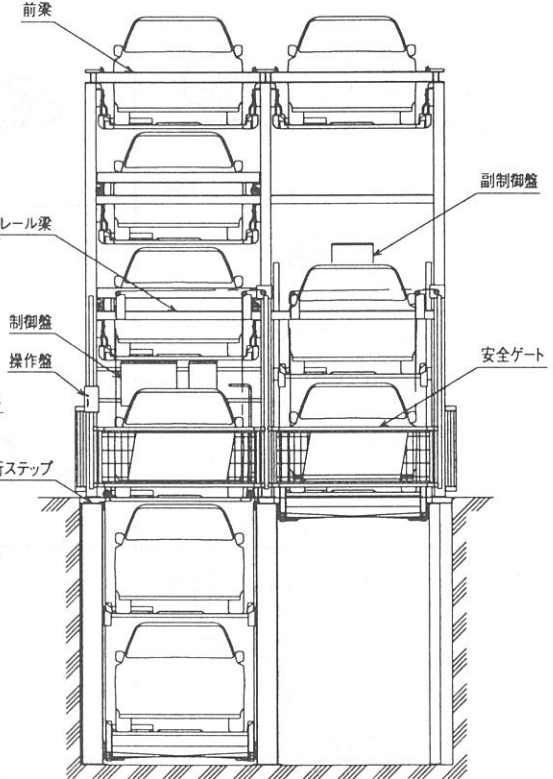
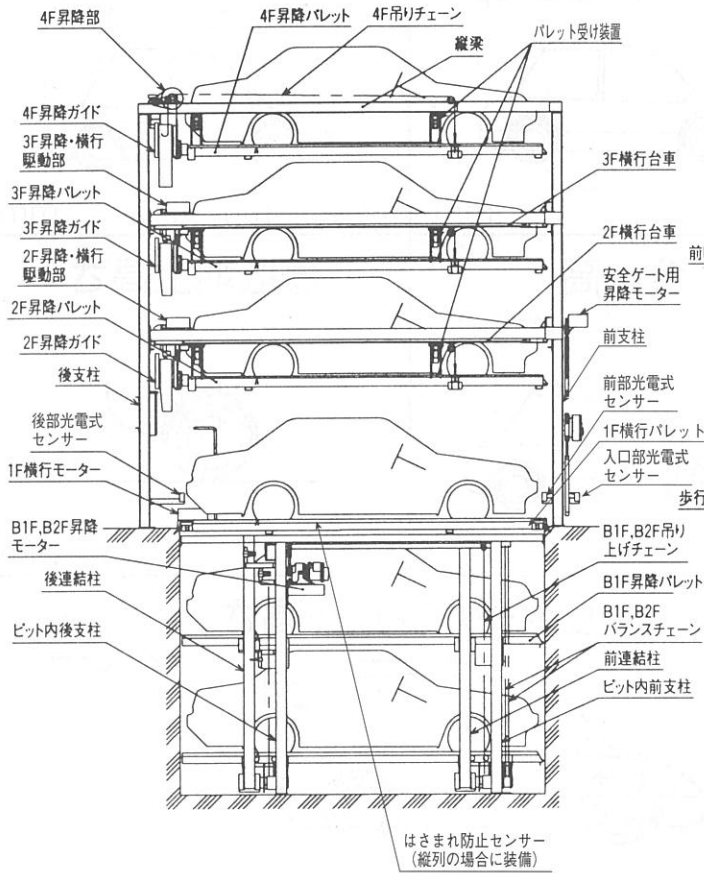
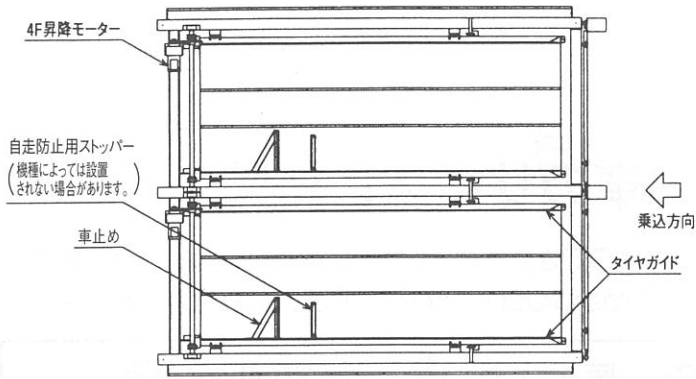
- 注1 諸元を超えた車を駐車させると装置や車の損傷、落下等の重大事故につながりますので、車の諸元は厳守してください。
- 注2 ドアミラーは、必ず折りたんで駐車してください。全幅寸法は車体寸法であり、ドアミラーの寸法は含まれておりません。
- 注3 全長を満足する車であっても、前輪中心から前端まで+ホイールベース (F値) や後輪中心から後端まで (R値) の寸法によっては収容できない場合があります。
- 注4 バンパー高さの基準をはずれる車両は、安全装置が働かなく車両の破損につながりますので、駐車させる時には十分確認の上ご使用下さい。
- 注5 F値は後輪の中心より車の最前部までの寸法です。
- 注6 R値は後輪の中心より車の最後部までの寸法です。

# 2

## 各部の名称

本図はSDパーク6DS型を示します。

各部の名称



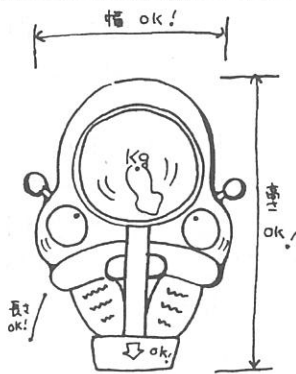
※機種によって形状が変わります。

# 3

## ご使用上の注意



### サイズと重量にご注意を!!



本装置には、駐車できる車のサイズと重量に制限があります。

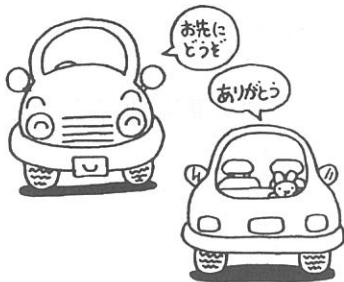
制限が守られないとパレットの落下や車の損傷などの重大な事故につながります。

お手元の車検証に記載されている「全長」「全幅」「全高」「車両重量」等の値が、「収容車諸元銘板」の値以下であることをご確認ください。

また、車を買替えたり修理など入庫させる車を替えるときは、管理者に十分確認して頂いてから、ご使用ください。また、お友達等のお車を駐車させる場合は、サイズと重量を必ず確認してから駐車ください。



### ゆずりあって安全に!!



隣のパレットで入出庫している場合は、隣の入出庫が終わるまでお待ちください。

隣が入出庫後、もしゲートが開いたままであっても、そのまま使用せず、前のご利用者が装置を使い終わるまでお待ちください。



### まず無人確認を!!



装置の中に人がいる時は、絶対に操作しないで下さい。装置にはさまれてケガをする場合があります。

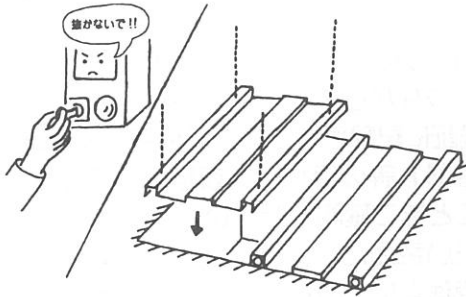


### 作動中に人や物が入らないように!!



パレットが作動中に人や物が装置内に入ると非常に危険です。絶対に人や物は立ち入らないようにしてください。人や物を発見しましたら、ただちに非常停止押ボタンスイッチを押すか、操作キーを「切」にして装置を停止させてください。

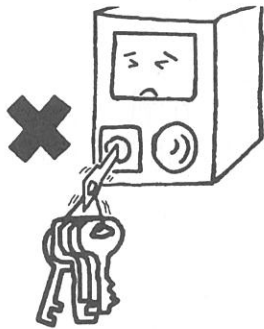
**！ 作動途中で操作キーを抜かないで！！**



駐車装置が作動中に電源キーを切って停止し、放置をしないでください。あとからご使用の方に迷惑をおかけします。

途中停止した場合は、周囲の安全を確認し「安全確認押ボタンスイッチ」を押して、もう一度ご自分のパレット番号を呼びだして装置が自動停止するのを確認してください。地上横行パレットのご利用者は上段または下段の適当なパレット番号を呼びだしてください。

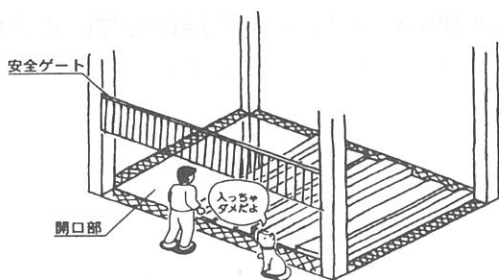
**！ 操作キーは他のキーと一緒にしないで！！**



操作キーを他のキーと一緒に束ねて使用されますと、束ねたキーの重みで操作キーが「入」から「切」に切り替わって装置が停止するか、動作しなくなることがあります。

操作キーは他のキーと束ねずに個別にご使用ください。

**！ 開口部がある時は入らないで！！**



安全ゲートが閉まり、ピットに開口部がある状態で停止している時は異常停止です。安全ゲートを開けて装置内に入らないでください。入るとピット内に転落してケガをすることがあります。

図のように装置が作動途中で止まっている場合は、次の操作をしてください。

- ①周囲の安全確認後、「安全確認押ボタンスイッチ」を押す。
- ②上段またはピット内のパレットご利用者はご自分のパレット番号を呼びだす。
- ③地上横行パレットのご利用者は上段または下段の適当なパレット番号を呼びだす。
- ④上記②または③を操作しても作動しない場合は、「緊急連絡先」に連絡してください。

**!** 車を運転しながら、操作をしないでください!!



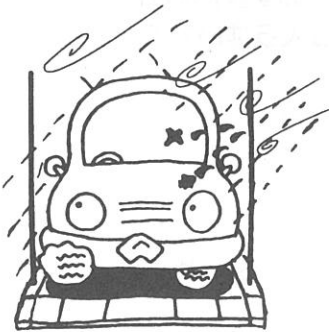
車を操作盤に横付けし、窓から身を乗り出して運転しながら操作すると、回りの安全を十分確認出来ず重大な事故を発生させたり、操作をまちがえたり、ご自身の車を傷つけたりしますので、絶対にしないでください。

**!** 錆粉の飛散にご注意を!!



年数の経過や摩耗によって塗装及びメッキ部に錆が発生する恐れがあります。特に上段のパレットから錆粉が落ちピット内の入庫車を汚損する恐れがあります。

**!** 潤滑油の飛散にご注意を!!



パレットを吊り上げるチェーンの潤滑油が降雨時や強風時に飛散して入庫車を汚損する恐れがあります。

**!** ピット内は湿気が高く結露が発生しますのでご注意ください!!



梅雨時、降雨の後等、ピット内は湿気が高くなり、パレット裏面の結露の雫が、車両に落ちたり、車両そのものに結露が付く場合がありますのでご注意ください。



**! 他の人には操作させないで!!**



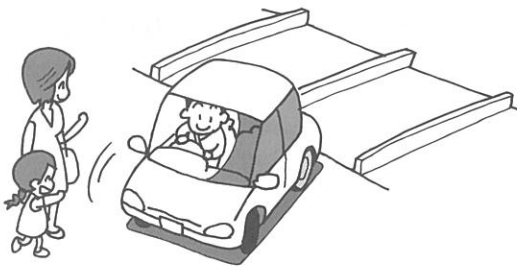
装置は管理者が許可した人以外の方には、絶対に操作させないでください。  
特にお子さまには、操作させないでください。

**! 車の運転は慎重に!!**



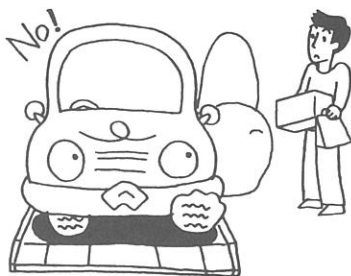
入出庫時は急発進・急停車・急ハンドル操作をしないよう慎重に最徐行して運転してください。  
急な運転で入出庫を行うと、装置に接触して車や装置を破損することがあります。  
装置が損傷しますと動作不能となり、他の利用者にご迷惑をかける恐れがあります。

**! 装置内の出入は運転者だけで!!**



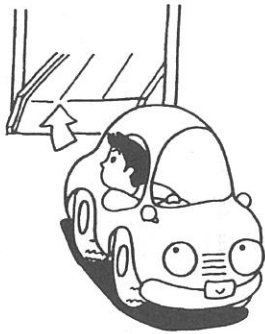
同乗者の乗降は、必ず装置の外で行い、運転者以外の方は装置内に立ち入らないでください。

**! 荷物の積み下ろしは装置外で!!**



トランクや座席等の荷物の積み下ろしは、必ず装置外で行ってください。  
次に使用される方が、気付かずに装置を作動させ、思わぬケガをする事があります。また、ドアやトランク等の閉め忘れにより装置と接触し、車が損傷する恐れがあります。

**!** 入庫は必ず後進で!!



入庫は必ず後進入庫をしてください。

前進入庫をするとパレットから車がはみ出し、車が傷ついたり装置の損傷を引き起こす恐れがあります。

**!** 手や頭を出さないで!!



入出庫時には手や頭を車の外に出さないでください。

装置の柱やゲートに挟まったり、ぶつかったりして大ケガをする恐れがあります。

また、ドアを開いたままの入出庫も大変危険ですのでやめてください。

**!** 頭上、足元にご注意を!!

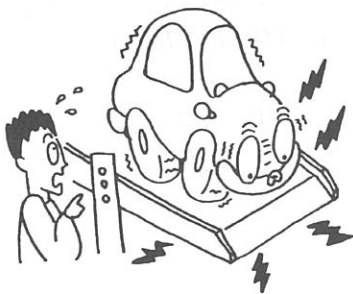


装置内では頭上、足元に十分注意してください。

頭上の梁、パレットなどにぶつかったり、足元の凹凸につまずいたり、転倒したりする恐れがあります。

特に雨等で濡れた箇所は、大変滑りやすくなっておりますので十分注意してください。

**!** 異常が発生したらただちに停止を!!



装置作動中に異音・異常振動・パレットの傾き・定位置外停止などが発生したら、ただちに非常停止押ボタンスイッチを押すか、操作キーを「切」にして装置の使用を停止して管理者または“緊急連絡先”にご連絡ください。

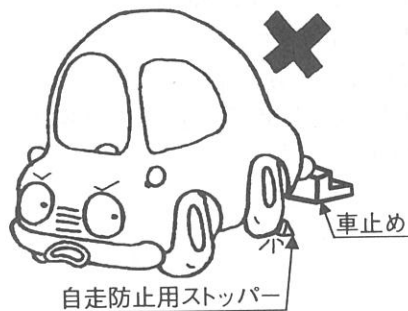
また、制御盤をあけてブレーカー等の強制復帰は絶対にしないでください。

**⚠ アンテナ、ルーフキャリア等にご注意を!!**



アンテナは必ず下げてから入出庫してください。アンテナを上げたまま入出庫すると装置とぶつかり、アンテナが折れ曲がったりする恐れがあります。また、車載テレビ等の後付けアンテナ、リアスポイラーやルーフキャリア等が、装置に表示されている収容車諸元銘板の数値を超えて装着されていると、入庫はできても次の方が使用した時、損傷する場合があります。十分注意してください。

**⚠ 自走防止用ストッパーの手前で止めないで!! (自走防止用ストッパー設置機種)**



地震や装置作動時の振動で車が自走してしまうのを防ぐために、車止めの手前に自走防止用ストッパーが設けてあります。この自走防止用ストッパーの前側に駐車しますと、車の前端が入口側にはみ出してしまい、前部光電式センサーが作動して（車種によっては、作動しない場合があります。）装置は動かなくなり、他の利用者に迷惑をかけることとなります。徐行速度で確実に自走防止用ストッパーを乗り越えて、後輪を車止めに当てて停車してください。

**⚠ 後輪は車止めに当てて止めて!!**



後輪を車止めに当てて停車してください。車止めを乗り越えたり、手前で止めますと、パレットからはみ出し、パレットが動いた時に装置や躯体と接触して、車が自走・転落する恐れがあります。万一車止めに当たった状態で車の前端または後端がパレットからはみ出している場合は、車止めを移動する必要があります。管理者または“緊急連絡先”にご連絡ください。有償にて対応させていただきます。

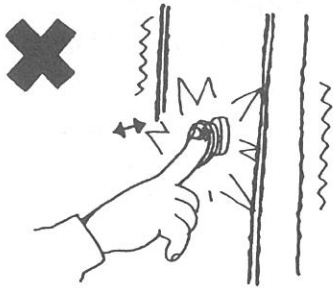
**⚠ 車止めを乗り越えないで!!**



車止めは適正駐車位置の目印と考え、最徐行して入庫し、絶対に乗り越えないでください。

乗り越えたまま駐車しますと後部光電式センサーが作動して（車種によっては、作動しない場合があります。）、装置は動かなくなり、次の利用者に迷惑をかけたり、装置を動かした時、車が装置や躯体と接触し損傷または落下事故につながります。

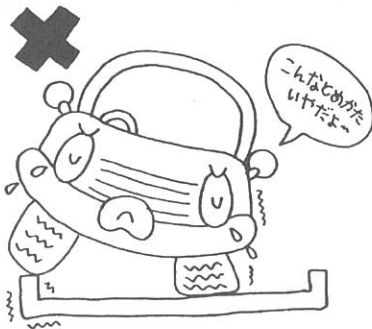
**⚠ 小刻みなボタン操作はしないで!!**



短い時間内（1～3秒程度）の小刻みな操作ボタンの入り切り（インチング）操作は、故障の原因になりますので絶対にやめてください。

また、パレットおよび安全ゲートは定位置まで動作させて中途半端な状態で停止させないようにしてください。

**⚠ 車はパレットの中央に!!**



車はパレットの中央に駐車してください。車を極端に片側に寄せて駐車したり、タイヤガイドに乗り上げたままや、斜めに入れたまま駐車すると、車（ドアミラーなど）や装置を損傷する恐れがあります。

**⚠ サイドブレーキを必ず引いて!!**



- 入庫後は以下の事を必ず守ってください。
- サイドブレーキを確実に引いてオートマチック車は‘P’レンジに入れてください。自走防止用ストッパーは万一車が自走した時の停止の補助をするものです。
  - 車のエンジンは切って、キーは確実に抜いてください。
  - ドアや窓は閉めて確実にロックしてください。
  - ドアミラーは折りたたんだことを確認してください。

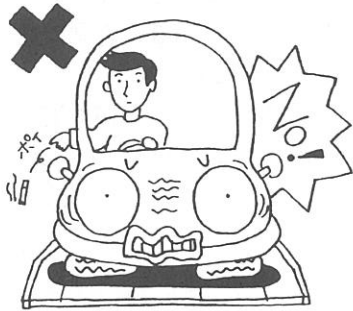
**⚠ ドアミラーにもご注意を!!**



装置に表示されている収容車諸元銘板の全幅にはドアミラーの寸法は含まれておりません。極端にパレットの端に寄せて車を止めた場合、ドアミラーを折りたたまないとパレットが動いたときに装置と接触してドアミラーが損傷する恐れがあります。駐車中はドアミラーを必ず折りたたんでください。

入出庫中もドアミラーは折りたたむことを原則とします。十分注意して入出庫してください。

**！ 駐車装置内とその付近は火気厳禁！！**



装置内では、**火気厳禁**をお守りください。特にタバコの火などガソリンへの引火の恐れがありますので、ポイ捨てはやめてください。

万一、火災が発生したら、ただちに管理者および消防署に連絡しその指示に従ってください。

〔火災発生時はむやみに装置を作動させますと延焼の恐れがあります。〕

**！ 駐車目的以外の行為はしないで！！**



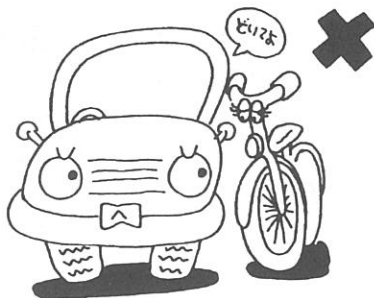
装置内で車の点検・修理・洗車・車中での休憩等の駐車目的以外の行為はやめてください。

**！ 駐車目的以外には使わないで！！**



本装置は、車両（4輪車）を駐車する目的で設計されております。従ってその目的以外で使用されますと、物の重さを把握することが出来なく、地震時・動作時には物が移動、転倒したり車両の入出庫に支障をきたし、本来の駐車場としての機能を発揮出来なくなりますので、物置・倉庫・植木置き場等の駐車目的以外の使用はやめてください。

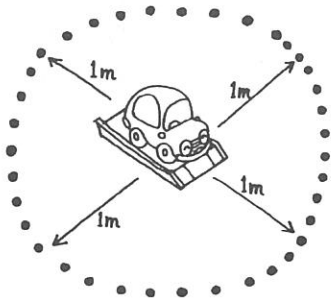
**！ 乗用車以外は乗せないで！！**



装置には収容可能条件を満たす車以外は乗せないでください。

特にオートバイ、自転車、子供用三輪車、箱類、スペアタイヤなどを乗せると運転中落下したり、装置の作動のじゃまをして装置の損傷を引き起こす恐れがあります。

**⚠ 操作前の安全確認を!!**



装置を操作する前に必ず周囲の安全を確認してください。

- 装置内に人がいたり、障害物がある場合は絶対に操作しないでください。
- 操作をする人以外は装置から1 m以上離れてください。
- 操作盤に操作キーがすでに差し込まれていた場合は、先に利用者がいることがありますので確認の上、操作をしてください。

**⚠ 操作中にも安全確認を!!**



操作をする人は、ご自身の安全を確認してください。特に足元や安全ゲートに注意してください。

**⚠ 車内に置き去りにしないで!!**



駐車中の車内には、お子さま（特に乳幼児）、イヌ・ネコ等のペットを置き去りにしないでください。

**⚠ ピット内への立ち入り禁止!!**



ピット内への立ち入りは大変危険ですので絶対にしないでください。

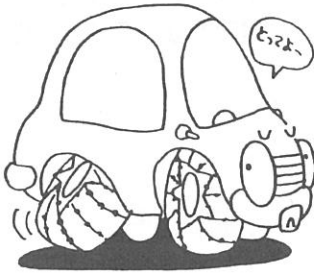
もしピット内に物を落としたときは管理者または“緊急連絡先”にご連絡ください。有償にて対応させていただきます。

**! ボディーカバーの使用はやめて!!**



車のボディーカバーは使用しないでください。装置の作動時の障害物になったり、各種安全装置および制御機器を誤作動させて思わぬ事故の原因になることがあります。

**! タイヤチェーンは外して駐車を!!**



タイヤチェーンはパレットの表面を傷め、錆の原因になりますので、装置内では使用しないでください。

**! 落ち葉やビニール袋などにご注意を!!**



落ち葉やビニール袋、空缶などは装置作動時の障害物になったり、各種安全装置を誤作動させて思わぬ事故を引きおこす恐れがありますので、完全に取り除いてからご使用ください。

**! 点検・修理は専門業者に!!**



保守点検・修理は必ず弊社指定のメンテナンス会社にお任せください。

ご自身での装置の点検や修理は危険があるだけでなく、装置の損傷の原因にもなりますので、22ページに記載してある日常点検以外は絶対にしないでください。なお、日常点検で装置の異常を発見した場合は、異常の大小にかかわらず、管理者または“緊急連絡先”にご連絡ください。

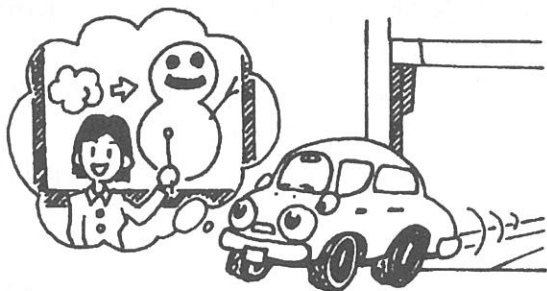
# 4 天災時の取り扱い

## 4.1 積雪・凍結

積雪、凍結時に駐車装置を運転させると、安全装置が働いて装置を強制的に止めたり、正常作動ができなかったりして、事故につながる場合があります。以下に、装置及び駐車車両の取り扱い方を説明いたします。

### 4.1.1 積雪・凍結時のお願い

**積雪・凍結しそうなきには、車両を出庫させて!!**



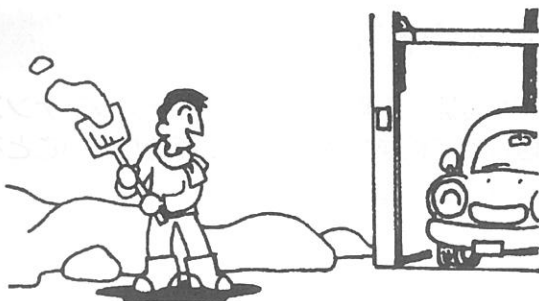
積雪、凍結は、駐車装置の安全な運転の妨げになります。積雪、凍結の恐れがあるときにご利用予定のある方は、事故防止のため、事前に車両を出庫させておいてください。

**装置内に積雪、凍結がある場合には、装置の運転を休止して!!**



装置内の積雪、凍結は、故障、誤動作、駐車車両破損の恐れがあります。雪が降っている間に限らず、駐車装置内に積雪が残っている場合、凍結している場合は、事故防止のため、装置の運転を休止してください。

**やむをえず装置の運転をする場合は、装置内を完全に除雪してから運転を!!**



弊社メンテナンス担当により点検させていただくまで、装置は運転休止とさせていただきます。やむをえず装置を使用する場合、弊社メンテナンス担当による除雪のあとと使用してください。但し、メンテナンス担当は降雪中は待機して、出動要請を受けさせていただきますが、降雪時の交通規制・放置車両などによる通行不能等がなくなった時点で、順次対応させていただきます。除雪に対する出動の費用につきましては、有償とさせていただきますとともに、各車両上部の積雪はご利用者自身で、出庫後装置外へ除雪願います。車両上部の除雪はできかねます。

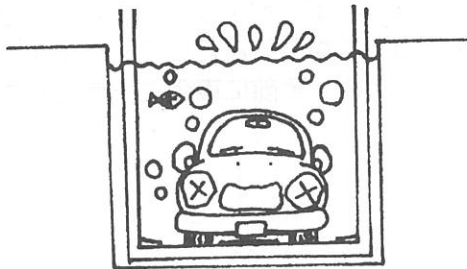


## 4.2 豪雨・洪水

豪雨、洪水は、冠水を引き起こすことがあります。以下に、装置及び駐車車両の取り扱い方を説明いたします。

### 4.2.1 豪雨や洪水の恐れがあるときのお願い

#### ピット冠水にご注意を!!



豪雨時、周りからの雨水流れ込みにより、ピット内は冠水する恐れがあります。

このような事態が予想される場合は、ピット内の全車は早めに地上に退避させてください。

なお、装置外駐車は、使用者の責任において管理してください。

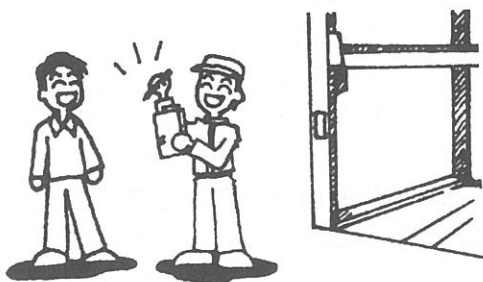
### 4.2.2 ピット内が冠水してしまった場合

#### 装置を操作したり、ピット内に入らない!!



万一、ピット内が冠水したときは、感電の恐れがありますので、装置を操作したり、ピット内に入ったりしないでください。

#### 排水後は、すぐに装置を操作せず、必ず点検を!!



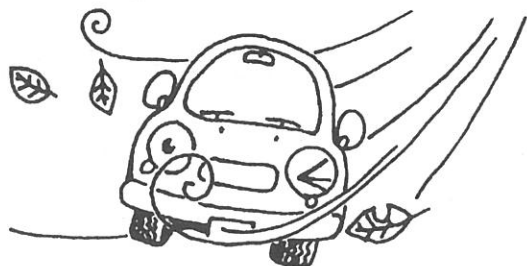
冠水後運転を再開する場合は、必ず弊社メンテナンス担当に連絡して点検を受け、装置に異常が無いことを確認したのちご使用ください。

## 4.3 暴風・台風

暴風、台風は、駐車車両を転倒させることがあります。以下に、装置及び駐車車両の取り扱い方を説明いたします。

### 4.3.1 台風が近づいてきたら

台風が近づいてきたら、装置の運転休止を!!



風速15m/秒以上の警報等発令時は、装置の操作を行わないで下さい。

## 4.4 地震

地震はピット部や基礎部を破壊したりして装置の安全運転に支障をきたし、事故発生につながる場合があります。以下に、装置及び駐車車両の取り扱い方を説明いたします。

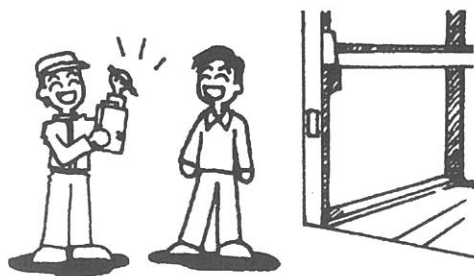
### 4.4.1 地震が起きたときのお願い

地震のときは、装置を操作しないで!!



地震のときは装置を操作しないでください。また、操作中に地震を感じたら、ただちに装置を止めてください。

地震のあとは、すぐに装置を操作せず、必ず点検を!!



震度5の強震相当以上が発生した後、運転をする場合は、必ず弊社メンテナンス担当に連絡して点検を受け、装置に異常が無いことを確認したのちご使用ください。

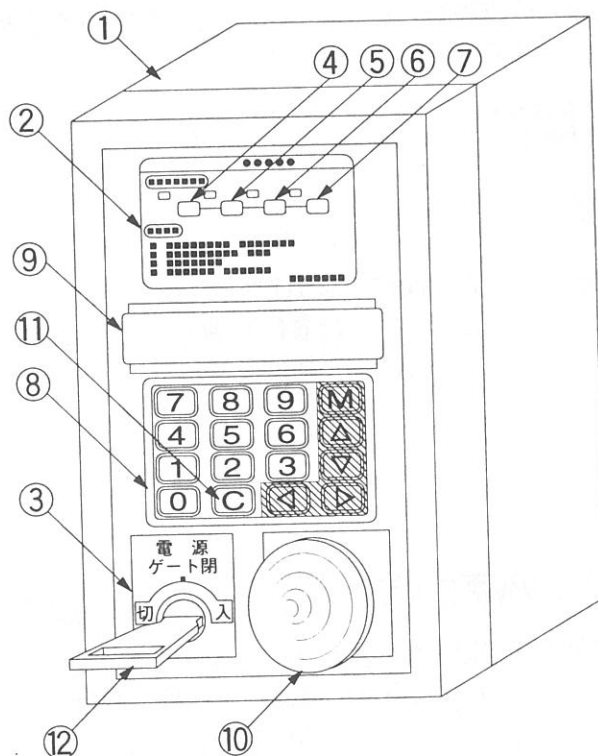
- 「積雪・凍結」「豪雨・洪水」「暴風・台風」「地震」による装置または駐車車両の損傷につきましては、弊社は責任を負いかねますので、ご了承ください。
- 「積雪・凍結」「豪雨・洪水」「暴風・台風」「地震」が原因である出動の費用につきましては、有償とさせていただきます。


# 5 操作方法

## 5.1 操作の基本と注意

1. 操作をするときは、3ページ～の『ご使用上の注意』と13ページ～の『天災時の取り扱い』に記載してあります各種の注意事項とお願い事項をお守りください。
2. 操作をする前に必ず装置内の**無人確認**と障害物のないことを確認してください。
3. **操作中**は、装置に人が近付かないよう十分注意してください。
4. 装置に付属している操作盤のキースイッチおよび各押ボタンスイッチの動きをご理解の上、操作してください。
5. **基本操作**は、該当するパレットNo.を入力することにより、目的のパレットが入出庫レベルに移動してきます。
6. **緊急**の場合は、ただちに非常停止押ボタンスイッチを押してください。装置は即時に停止します。
7. 車の入出庫が完了したら、必ず操作盤の**操作キー**を抜いてください。

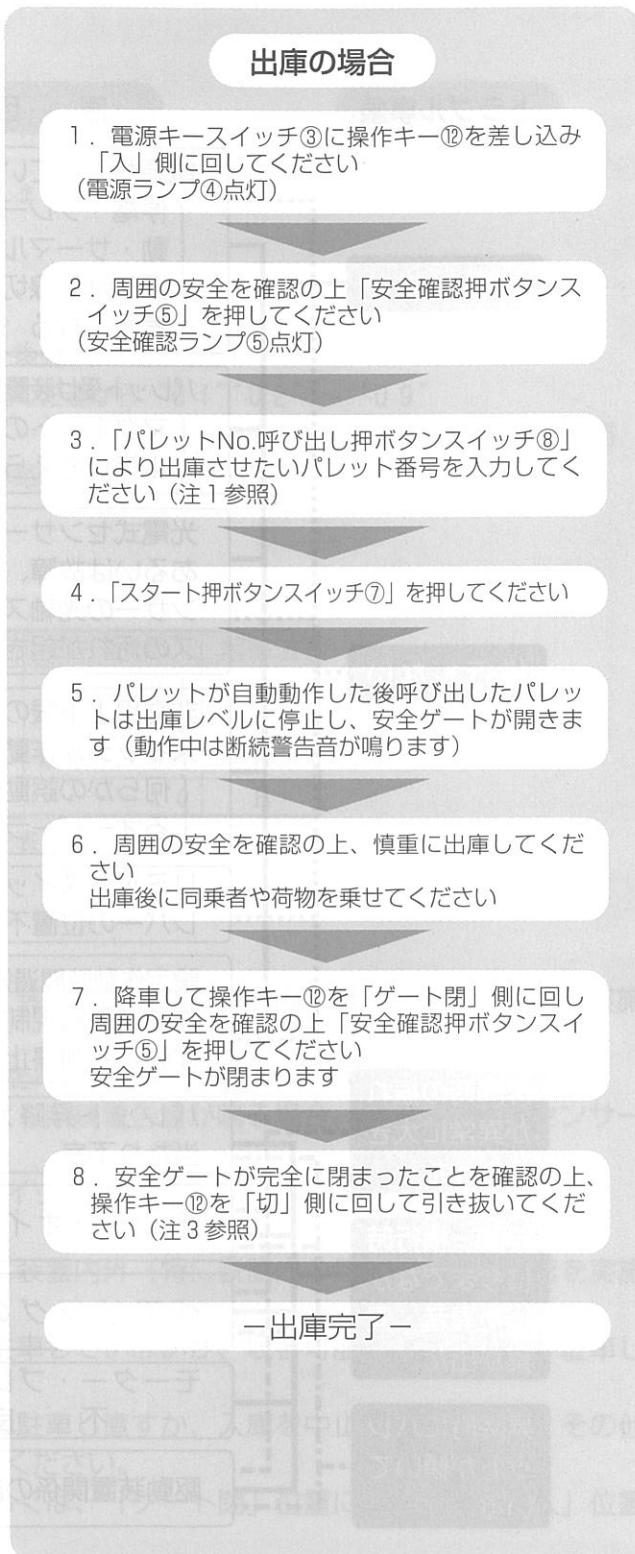
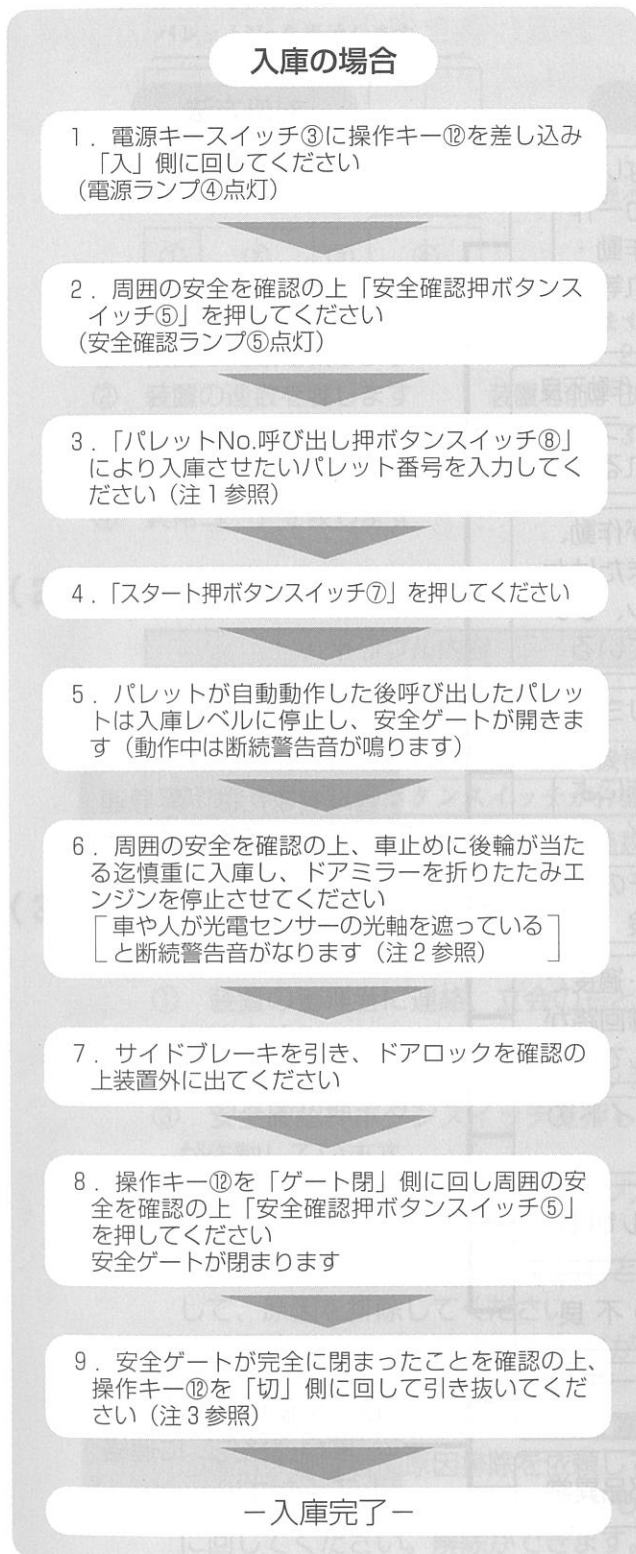
## 5.2 操作盤



- ① 操作盤本体
  - ② 操作盤銘板
  - ③ 電源キースイッチ
  - ④ 電源ランプ
  - ⑤ 安全確認押ボタンスイッチ兼安全確認ランプ
  - ⑥ パレットNo.入力確認ランプ
  - ⑦ スタート押ボタンスイッチ
  - ⑧ パレットNo.呼び出し押ボタンスイッチ
  - ⑨ 呼び出しパレットNo.および異常コード表示盤
  - ⑩ 非常停止押ボタンスイッチ
  - ⑪ パレットNo.クリアー押ボタンスイッチ
  - ⑫ 操作キー
- 注)  部分の押ボタンスイッチは保守点検用です。通常は使用しないでください。

## 5.3 操作手順

### ソレノイドキー付きテンキー式操作盤の場合



注1 パレット番号を間違えた場合は「C」ボタン(パレットNo.クリアー押ボタンスイッチ)を押してから正しいパレット番号を押してください。

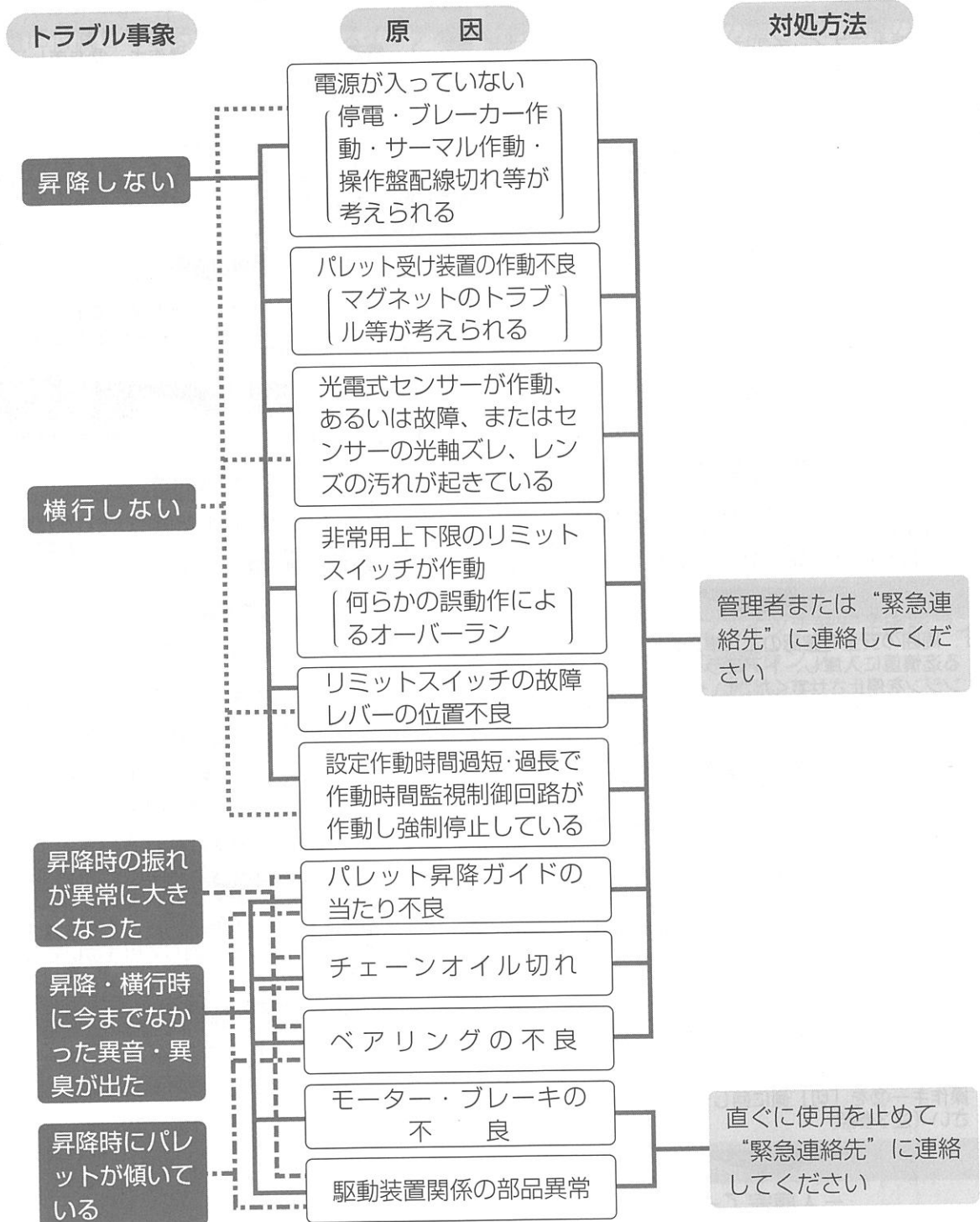
注2 入庫終了後、断続警告音が止まらない時は、停止位置不良か収容可能車諸元以上の車を入庫させていますので、停止位置または全長を確認願います。

注3 操作キーは「切」位置以外では引き抜くことはできません。

# 6

## トラブル時の対応

装置をご使用中に発生すると考えられるトラブル事象、原因、対応方法について示します。トラブルの状況を管理者や“緊急連絡先”に的確に知らせ、迅速に対応するための案内としてご活用ください。操作盤には、万一トラブルが発生した場合、異常コード表示盤にコードNo.でトラブル状態を表示する機能が付いています。

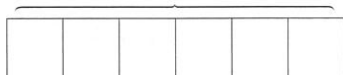


## 異常コードの見方

### (1) 呼び出しパレットNo.表示および異常コード表示盤

#### 1) 通常ご使用時

パレットNo.を表示します



#### 2) 装置にトラブルが発生して停止した時

異常コードを2桁の番号で表示します



トラブル発生のパレット位置を番号で表示します

- ① 装置の列数を表します      1…前列   2…後列
- ② 装置の連数を表します      装置を前から見て左連から“01”“02”～“09”
- ③ 装置の段数を表します      4F…4   3F…3   2F…2   1F…1   B1F…0   B2F…5  
B3F…6   車路段…8   ゲート…9
- ④ 異常コードを表します

### (2) 異常コードの表示内容

トラブル内容	コードNo.	解除法
入口部光電式センサーが作動	----01	A
前後部光電式センサーが作動	***-02	B
はさまれ防止センサーが作動（縦列機種）	***-04	B
操作盤非常停止押ボタンスイッチが作動	----10	B

(注) 上記コードNo.の\*\*\*は装置の列，連数を表します。

### (3) 異常停止復帰方法

#### 1) 解除方法“A”の場合

- ① 装置の管理者に連絡、立会のもとに装置内外（特に装置内の無人）の安全確認を実施してください。
- ② 操作盤の安全確認押ボタンスイッチを押してください。解除ができます。
- ③ 安全確認押ボタンスイッチを押しても断続警告音が鳴る場合、前後部光電式センサーが作動しています。
- ④ 再度、操作盤の安全確認押ボタンスイッチを押してください。解除ができます。

#### 2) 解除方法“B”の場合

- ① 装置の管理者に連絡、立会のもとに装置内外（特に装置内の無人）の安全確認を実施して、原因を排除してください。
- ② 装置内に定位置からはずれて車が駐車していないか、収容可能諸元以上の車が駐車していないか、確認してください。
- ③ ご自分の車が原因の場合は定位置に駐車し直るか、入庫を中止してください。その他の場合は管理者に原因排除を依頼してください。
- ④ 操作盤の操作キーを「切」位置もしくは、「ゲート閉」位置に回し、再度「入」位置に回してください。解除ができます。



上記以外の異常コードが表示された場合は、装置本体の故障や制御関係の故障です。ただちに管理者か“緊急連絡先”に連絡をしてください。ご利用者自身の復帰・復旧は重大な事故の恐れがありますので、絶対に行わないでください。

# 7

## ターンテーブル操作方法

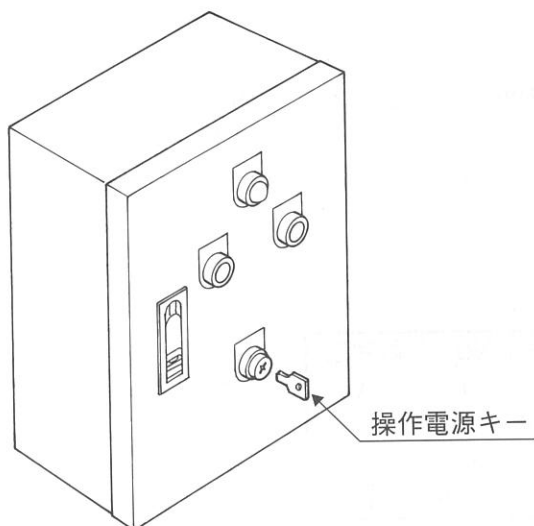


### 注意

- ターンテーブル上及び周辺に人がいないことを確認してから操作を行って下さい。
- 車のタイヤが全てターンテーブルに乗っていない状態で回転させると、安全装置が働き停止したり、装置が損傷しますので、十分確認してから操作を行って下さい。

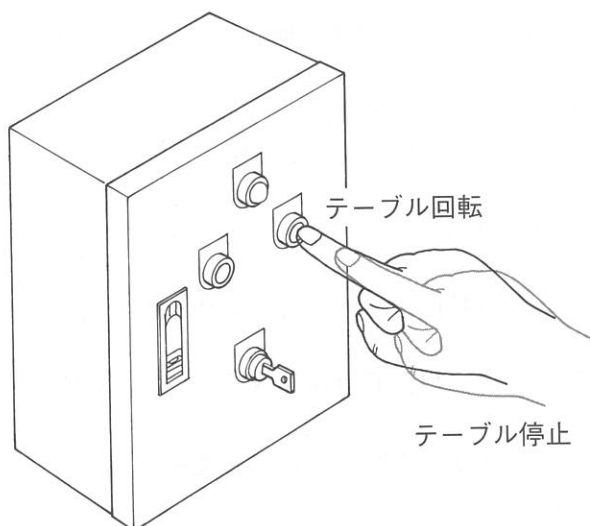
設置していない場合があります。

#### 1 操作盤の電源スイッチキーを入れる。



専用キーを差し込み、“入”にします。

#### 2 ターンテーブルを回転及び停止する。



- ターンテーブル周囲の安全を確認し、回転させたい方向のボタンを押し続けます。
- ターンテーブルは直ちに回転します。
- ターンテーブル回転を停止させたい場合は、押ボタンから指を離すと直ちに停止します。

※車両のはみ出し等による躯体等への当たりには十分注意して下さい。

#### 3 ターンテーブル回転操作の終了

ターンテーブル回転操作が終了したら速やかに操作電源キースイッチを“切”にしてキーを抜いてください。

## 8.1 保証

この装置にかかわる品質保証は納入・お引き渡しに際して、別途お渡ししました保証書の内容に従い、下記の通りとなります。

### 1. 保証期間

- ① 納入した装置の保証期間は、この取扱説明書に示した正常な使用状況で保守契約書に定めた事項を遵守するという条件のもとに、お引き渡し日より1ヵ年です。
- ② この保証期間内に生じた故障・事故の内容が弊社の設計・製作・据付・保守点検等の欠陥によると認められた場合は、無償で修理または当該部品の交換を行います。但し、故障・破損の内容によっては、修理のために外観上多少の変更等を伴うことがありますのでご了承ください。
- ③ お引き渡し後の保守点検管理は、所有者の責任において実施することを原則とします。定期的な保守点検は有償となり、弊社と保守契約を締結していただき、当装置の正常な稼働と円滑な運用をお願いいたします。

### 2. 保証を適用しない事項

保証期間内であっても、つぎの場合は保証の対象外とし、これらに伴う修理や部品の交換等は有償となります。

- ① 保守契約書に定めた事項を遵守していない場合。
- ② お引き渡し後、お客様の都合により無点検の状態で放置された場合で、それに起因する故障・破損・事故等が発生した場合。
- ③ 水害・台風・地震・雪害・その他の不可抗力による故障・破損・事故等の場合。
- ④ 弊社の関知しない改造等による故障・破損・事故等の場合。
- ⑤ 正常な取り扱い手順を踏まない誤操作や装置に表示した注意事項を無視した行為による故障・破損・事故等の場合。
- ⑥ この取扱説明書に記載されている注意事項を守らずに使用し、故障・破損・事故等が発生した場合。
- ⑦ 入庫時に車両や人が通る部分（パレット、歩行路）に生じた傷、塗装の剥離や錆等の外観上の変動。
- ⑧ 通常の使用状況のもとで、装置に生じた傷・塗装の剥離や錆等の外観上の変動および部品の（標準消耗部品を除く）の摩耗・劣化等による修理・交換等の場合。
- ⑨ 弊社が指定するメンテナンス会社以外が行った修理・改造・保守点検に起因する故障・破損・事故等の場合。
- ⑩ 故障・破損・事故等の運転休止による代車・代替え駐車場・営業補償等の二次補償。
- ⑪ 入庫車の整備不良に起因する、あらゆる二次的障害に対する補償修理の場合。

### 3. お客様へのお願い事項

- ① この取扱説明書の内容に従って正しくお使いください。
- ② 万一、故障・破損・事故等が発生した場合は、その原因究明と迅速な修理・復旧を図るために、極力現場をそのままの状態に保持し、状況を記録しておくようお願いいたします。



## 8.2 保守点検

一般に機械装置は、日常使用することによって、また時間が経つに従い劣化します。本装置は安全で堅固な機構の装置ではありますが、この物理的变化は避けることができません。

運転条件などにより、程度が多少異なるものの、その結果、摩耗・腐食・衝撃・疲労などによる破損や塵芥などにより作動不良などの現象を起こし、本来の性能が発揮できなくなる恐れがあります。

特に、安全装置や駆動装置などの性能劣化は、重大な事故を引き起こすことにもなります。従って、この装置は必ず1ヶ月をめぐりに定期的な保守点検を実施の上、お使い頂くことをお願いしています。

### 1. 保守契約

- ① お引き渡し後は、定期的な保守点検は、弊社と保守契約を締結していただきます。
- ② 保守契約ご締結以降の保守点検は、弊社指定のメンテナンス会社の専門技術者が責任をもって実施します。
- ③ 保守点検の項目・内容は保守契約書によります。

### 2. 日常点検

装置をいつまでも丈夫で長持ちさせるためには、保守契約を締結して頂き定期的な保守点検を実施すると共に、ご自分でできる次の日常点検をお願い致します。

- ① 車両の乗り入れ部の清掃  
落葉時期や台風の後など、装置内に落ち葉やゴミがある場合には、必ず取り除いてください。
- ② 豪雨時の点検  
梅雨時期や台風時期の豪雨の時、排水設備が正常に動作するか、または排水口が落ち葉やゴミ等でふさがれていないか、点検してください。
- ③ 積雪時の除雪  
装置への積雪は、装置に過剰な重量がかかったり、作動不良の原因になりますので、除雪もしくは運転を休止してください。
- ④ 異音・異臭およびパレットの傾きの点検  
普段の運転時と異なる音・臭いおよびパレットの傾きがある場合は運転をやめ、管理者または“緊急連絡先”にご連絡ください。

## 異常時又は緊急時の連絡先

操作盤に表示している緊急サービスセンターに連絡してください。

## その他ご不明点のお問い合わせ先

# NHK P.S

株式会社 **ニッパツ パーキングシステムズ**

---

本 社	〒259-1126	神奈川県伊勢原市沼目2-1-49	☎0463 (91) 8620
東京オフィス	〒100-0011	東京都千代田区内幸町1-2-2	☎03 (3597) 8230
大阪支店	〒532-0011	大阪市淀川区西中島4-13-22	☎06 (6886) 0456
名古屋営業所	〒465-0025	名古屋市名東区上社1-802	☎052 (774) 5768

<http://www.nhk-ps.co.jp>

# NHKニッパツ

日本発条株式会社

産業事業本部 パーキング部

---

〒520-2412 滋賀県野洲市六条985 ☎077 (589) 6446

<http://www.nhkspg.co.jp>